

問1 ブラジルやコロンビアといった南アメリカ諸国、およびベトナムやインドネシアなどのアジア諸国で盛んなコーヒー豆の生産体制について、その仕組みや経済的な特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。(2022年 神奈川県公立入試 類似)

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1. 自給自足を主な目的として、家族経営の小規模な農地で主食となる作物を栽培している。 | 2. 広大な土地に資本を投入し、プランテーションと呼ばれる大規模農園で輸出向けの商品作物を栽培している。 | 3. 先進国の高度な農業技術を導入し、冷涼な気候の土地で大規模な機械化による穀物農業を行っている。 | 4. 乾燥地帯のわずかな水資源を利用し、オアシス周辺で伝統的な手法を用いて自給用の作物を育てている。 |
|---|--|---|--|

問2 ある都市の統計において、最暖月の平均気温が約12度、最寒月の平均気温が約8度と、年間の気温差がわずか4度程度で推移している記録があります。また、12月から3月にかけて降水量が多くなる傾向が見られるとき、この都市が位置する場所の説明として最も適切なものはどれですか。(2016年 香川公立入試 類似)

- |  |  |                                     |  |
|--|--|-------------------------------------|--|
| 1. アンデス山脈の周辺など、南半球の低緯度に位置する標高の高い地域である。 | 2. 北極海沿岸など、北半球の高緯度に位置するユーラシア大陸北部の沿岸部である。 | 3. 日本の本州付近など、中緯度に位置する温帯の温暖湿潤な地域である。 | 4. サハラ砂漠の周辺など、回帰線付近に位置する降水量の極めて少ない地域である。 |
|--|--|-------------------------------------|--|

問3 リオデジャネイロの降水量と気温の傾向について、1月の気温が約26度と高く、12月から3月にかけて降水量が多い一方、7・8月は降水量が少ないという統計結果があります。この地域で見られる気候の特色として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 群馬県公立入試 類似)

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 南半球の夏季にあたる時期に、気温の上昇とともに降水量が多くなる雨季が見られる。 | 2. 南半球の冬季にあたる時期に、気温の低下とともに降水量が多くなる雨季が見られる。 | 3. 赤道低圧帯の影響を一年中受けるため、季節に関係なく年中高温多雨である。 | 4. 高緯度に位置しているため、1月でも気温が上がらず、年間を通して乾燥している。 |
|--|--|--|---|

問4 日本が最も暑くなる8月ごろ、赤道よりも南側の南半球に位置する南アメリカ大陸のブラジルでは、一般的にどのような季節を迎えていますか。(2022年 山形公立入試 類似)

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| 1. 冬 | 2. 春 | 3. 夏 | 4. 秋 |
|------|------|------|------|

問5 温帯の気候区分のうち、北半球にある都市では7月頃に、南半球にある都市では1月頃に、それぞれ降水量が極端に少なくなり乾燥する特徴を持つものがあります。このような、夏季に乾燥し、冬季にある程度の降水量がある気候区分を何と呼びますか。(2018年 岐阜公立入試 類似)

- |           |            |           |          |
|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. 地中海性気候 | 2. 西岸海洋性気候 | 3. 温暖湿潤気候 | 4. サバナ気候 |
|-----------|------------|-----------|----------|

問6 中国の連雲港市は、明瞭な四季の変化に加え、海外資本を積極的に導入することで目覚ましい経済発展を遂げています。このような大陸東岸の温暖湿潤気候の地域が、産業の発展や企業の進出に適している背景として、最も適切な説明はどれですか。(2023年 神奈川県公立入試 類似)

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 季節風による豊かな降水量が産業用水を支え、中緯度の穏やかな環境が大規模な労働力の確保や都市形成を容易にしているため。 | 2. 年間を通じて高温多湿であり、広大な熱帯雨林を活用した林業やプランテーション農業に特化した経済構造を築きやすいため。 | 3. 夏の極端な乾燥を克服するために高度な灌漑技術が発達し、それが精密機械工業などの技術力に直結したため。 | 4. 偏西風と暖流の影響で緯度のわりには冬も温暖であり、不凍港を利用した北極圏との貿易が一年中可能であるため。 |
|---|--|---|---|

問7 高緯度地域に分布するある地域の気候統計において、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がる一方で、7月の平均気温は20度近くまで上昇するという、1年を通じた気温の変化(年較差)が非常に大きい記録が見られました。また、月ごとの降水量は年間を通じて比較的少ない傾向にあります。このような特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。(2022年 静岡公立入試 類似)

- |            |       |       |        |
|------------|-------|-------|--------|
| 1. 冷帯(亜寒帯) | 2. 温帯 | 3. 寒帯 | 4. 乾燥帯 |
|------------|-------|-------|--------|

問8 四季の変化がはっきりとしており、夏季に海からの湿った季節風(モンスーン)の影響を受けて気温が上がり、降水量も多くなるのが特徴の気候区分は何ですか。(2019年 兵庫公立入試 類似)

- |           |           |            |          |
|-----------|-----------|------------|----------|
| 1. 温暖湿潤気候 | 2. 地中海性気候 | 3. 西岸海洋性気候 | 4. サバナ気候 |
|-----------|-----------|------------|----------|

問9 世界の気候の法則性に基づき、南アメリカ大陸の各地における平均気温の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。(2018年 大分県公立入試 類似)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. 標高が同程度の低地であれば、赤道に近い地点から南の端に近い地域へ移動するにつれて、一般に平均気温は低下していく。 | 2. 緯度が高くなるほど太陽からの受熱量が増加するため、南アメリカ大陸の南端部は赤道付近よりも年間を通じて高温になる。 | 3. 平均気温の決まり方は時差と密接に関係しているため、同じ経度にある地点であれば、赤道からの距離に関わらず気温は一定である。 | 4. 南アメリカ大陸においては、地形の起伏が激しいため、緯度の違いが気温に与える影響はほとんど無視できるほど小さい。 |
|---|---|---|--|

問10 高緯度地域で見られる「フィヨルド」と呼ばれる地形の、一般的な特徴や条件として正しいものはどれか。(2018年 愛媛公立入試 類似)

- |  |                                     |                                   |                                       |
|--|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. かつて氷河に覆われていた地域で見られ、非常に奥行きのある湾を形成する。 | 2. 熱帯のサンゴ礁が発達した地域で見られ、海岸線に並行して発達する。 | 3. 大河の河口付近で、上流から運ばれた土砂が堆積して形成される。 | 4. 乾燥帯の砂漠地域において、風の侵食によって岩石が削られて形成される。 |
|--|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|

問11 茶の栽培が行われている地域の気候的な特徴を考慮したとき、茶の生産が困難な地域の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。(2020年 広島公立入試 類似)

- |  |                                  |                                     |                                   |
|--|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 極端に気温が低くなる冷帯(亜寒帯)や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。 | 2. 年間を通じて気温が高く、一定以上の降水量がある熱帯の地域。 | 3. 四季の変化がはっきりとしており、温暖な気候に恵まれた温帯の地域。 | 4. 夏は高温で乾燥するが、冬に一定の降雨がある地中海沿岸の地域。 |
|--|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|

問12 世界の諸地域の文化に関する記述として、イスラム教の特徴を正しく説明したものを選びなさい。(2020年 静岡公立入試 類似)

- |                                    |  |                                   |                                  |
|------------------------------------|--|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 西アジアで誕生し、信者は一日に五回、聖地に向かって礼拝を行う。 | 2. 南アジアで誕生し、カースト制度と呼ばれる身分制度と深く結びついている。 | 3. 東アジアで誕生し、厳しい修行を通じて悟りを開くことを目指す。 | 4. 西ヨーロッパで誕生し、日曜日には教会に集まって礼拝を行う。 |
|------------------------------------|--|-----------------------------------|----------------------------------|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 広大な土地に資本を投入し、プランテーションと呼ばれる大規模農園で輸出向けの商品作物を栽培している。	コーヒー豆は、自分たちで消費するためではなく、世界市場へ販売（輸出）して現金収入を得るための「商品作物」です。熱帯地域では、かつての植民地支配などを背景に、資本を投下して「プランテーション」と呼ばれる大規模な農園を作り、効率的に大量生産を行う体制が築かれました。南アメリカや東南アジアの主要生産国では、この形式が一般的です。
問2	答え 1 アンデス山脈の周辺など、南半球の低緯度に位置する標高の高い地域である。	年間を通じて気温が10度前後で安定しているのは、低緯度（赤道付近）の高山気候に特有の現象です。さらに、12月から3月にかけて降水量が多い（夏に雨が降る）という特徴から、季節が北半球と反対になる南半球に位置していることが判断できます。南米のアンデス山脈にあるラパスなどの都市がこの事例に該当します。
問3	答え 1 南半球の夏季にあたる時期に、気温の上昇とともに降水量が多くなる雨季が見られる。	リオデジャネイロでは、気温が最も高くなる1月を中心とした12月から3月にかけて降水量が多くなり、この時期が「雨季」にあたります。逆に、気温が相対的に低くなる7月・8月頃は「乾季」となり、降水量が減少します。これは熱帯から亜熱帯にかけての南半球の都市によく見られる季節特性です。
問4	答え 1 冬	地球は地軸を傾けた状態で太陽のまわりを公転しているため、時期によって太陽の光を強く受ける地域が変化します。日本がある北半球が夏にあたる時期は、太陽の光が北半球側に多く当たるようになっています。このとき、赤道を挟んで反対側の南半球に位置する地域は、太陽から受ける熱が少なくなるため、日本とは反対の冬の季節になります。
問5	答え 1 地中海性気候	温帯の中でも、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を強く受けることで雨がほとんど降らず、冬季に偏西風や前線の影響で一定の降水が見られるのが地中海性気候の特徴です。北半球と南半球では季節が逆転するため、乾燥する時期も半年ずれることとなります。西岸海洋性気候は年間を通して降水量の差が小さく、温暖湿潤気候は夏季に降水量が多くなるため、夏に乾燥するという点が判別の決め手となります。
問6	答え 1 季節風による豊かな降水量が産業用水を支え、中緯度の穏やかな環境が大規模な労働力の確保や都市形成を容易にしているため。	連雲港市のような温暖湿潤気候の地域は、モンスーンがもたらす雨によって農業が発展しやすく、古くから人口が密集してきました。豊富な水資源は工業用水としても不可欠であり、さらに安定した気候が多くの労働力を集める都市形成を助けています。こうした自然条件に「海外からの投資」という経済政策が組み合わさることで、急速な工業化と経済発展が可能となりました。地中海性気候や西岸海洋性気候とは、大陸の反対側に位置する点や降水パターンの違いで区別されます。
問7	答え 1 冷帯（亜寒帯）	高緯度に位置するこの気候帯は、夏と冬の気温差である「年較差」が非常に大きいことが最大の特徴です。冬の寒さは氷点下まで大きく下がりますが、夏は樹木が成長できる程度まで気温が上がるため、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林が分布しています。降水量は、温帯などの低緯度寄りの地域に比べると年間を通じて少なめになります。
問8	答え 1 温暖湿潤気候	この気候は日本や東アジアに広く分布しており、季節風の影響を強く受けることで、夏季に多雨、冬季に比較的乾燥するという特徴を持っています。気温の年変化も大きく、明瞭な四季が見られます。
問9	答え 1 標高が同程度の低地であれば、赤道に近い地点から南の端に近い地域へ移動するにつれて、一般に平均気温は低下していく。	緯度と気温には密接な関係があり、赤道から北極や南極（高緯度）に向かうほど平均気温が低くなるのが原則です。南アメリカ大陸においても、赤道直下の低地にある都市と、南緯50度付近の寒冷な地域を比較すると、緯度の高い後者の方が太陽エネルギーの受熱量が少ないため、気温が低くなります。時差（経度）や地形の影響よりも、緯度による受熱量の差が気温の基本構造を決定します。
問10	答え 1 かつて氷河に覆われていた地域で見られ、非常に奥行きのある湾を形成する。	フィヨルドは氷河の侵食力が非常に強かった場所に形成されるため、他の海岸地形に比べて湾が非常に細長く、内陸深くまで入り込んでいるのが特徴です。ノルウェーのほか、ニュージーランドの南島や南米のチリ南部など、かつて大陸氷河や山岳氷河が発達していた高緯度地域に多く分布しています。
問1	答え 1 極端に気温が低くなる冷帯（亜寒帯）や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。	茶は温暖で湿潤な気候を好む植物です。そのため、植物の生育が困難なほど気温が低い寒帯や、冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）では栽培することができません。また、生育には十分な水分も必要なため、雨が極端に少ない砂漠地帯も栽培には適しません。実際の生産地は、温帯から熱帯にかけての広い範囲に分布しています。
問1	答え 1 西アジアで誕生し、信者は一日に五回、聖地に向かって礼拝を行う。	イスラム教は7世紀に西アジアで成立し、その後アフリカ北部や中央アジア、東南アジアなどへ広く普及しました。聖地メッカへ向けて祈る礼拝のほか、ラマダーン（断食月）の断食などの特徴的な生活様式を持っています。